

製品名: GPR119 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11630**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	37kDa

抗原情報

遺伝子名	GPR119
別名	GPR119; Glucose-dependent insulinotropic receptor; G-protein coupled receptor 119
遺伝子 ID	139760.0
SwissProt ID	Q8TDV5
免疫原	抗血清はヒト GPR119 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 186-235

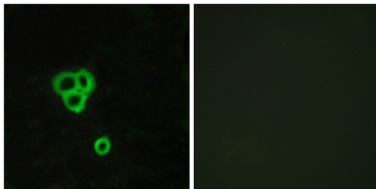
背景

この遺伝子は、膵臓および消化管で発現する G タンパク質共役受容体のロドプシンサブファミリーに属するタンパク質をコードしています。コードされているタンパク質は、リゾホスファチジルコリンやオレオイルエタノールアミドなどの脂質アミドによって活性化

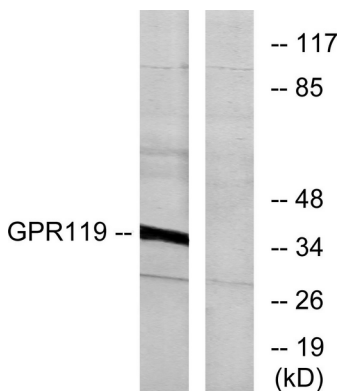
化され、血糖恒常性維持に関与している可能性があります。このタンパク質は、2型糖尿病の治療における潜在的な薬物標的ですが、[RefSeq 提供、2010年1月]、機能: 内因性脂肪酸エタノールアミドであるオレオイルエタノールアミド (OEA) およびリゾホスファチジルコリン (LPC) の受容体。グルコース依存性インスリン分泌刺激受容体として機能します。この受容体の活性は、アデニル酸シクラーゼを活性化する G タンパク質によって媒介されます。G(s) 媒介経路を介して作用すると思われる。類似性: G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属する。組織特異性: 主に膵臓、特に膵島で発現する。、

研究分野

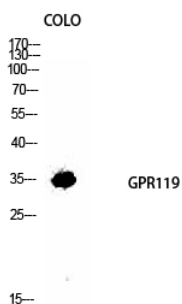
画像データ



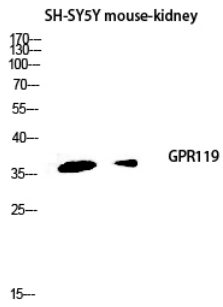
GPR119 抗体を用いた MCF7 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。



GPR119 抗体を用いた K562 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーン合成ペプチドでブロックされている。



GPR119 ポリクローナル抗体 (1: 1000 希釈) を用いた COLO 細胞のウェスタンブロット解析



GPR119 抗体を用いた SH-SY5Y マウス腎臓溶解のウェスタンブロット解析。抗体は 1:1000 に希釈した。